

みつばちの腐蛆病検査について

京都府では届出のあったみつばち群に対し、家畜伝染病予防法に基づき腐蛆病検査を実施（検査手数料は1群当たり50円、9月に実施）していますのでご協力をお願いします。なお、腐蛆病が摘発された場合は法定処分することになっていますので、併せてご了解願います。

○みつばちの主な病気と対策

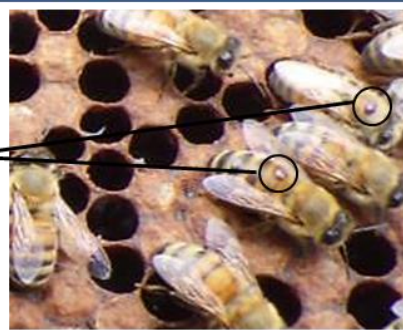
主な病気	原因・症状	予防・対策
腐蛆病 (法定伝染病)	腐蛆病菌の感染。有蓋蜂児が主に死亡し、粘調性で茶褐色の腐蛆、巣房蓋の陥凹や小孔がみられ、時に膠臭がある。	蜂具、土壌の消毒。群勢強化。予防薬(ミロマイシン製剤:アピテン)の投与。発生した場合、蜂群(巣箱、巣脾)は焼却処分。
バロア病 (届出伝染病)	ミツバチヘギイダニの寄生。蜂児の死亡、成虫の矮小化・羽の奇形。	予防薬(アミトラス製剤:アピパールの使用)
アカリダニ症 (届出伝染病)	アカリダニの寄生。重度寄生があると、呼吸困難、飛翔不能。	群勢強化。蜂具の消毒。汚染群を導入しない。
ノゼマ病 (届出伝染病)	ノゼマ原虫が原因。巣箱が蜂糞で汚れる。	蜂具、土壌の消毒。群勢強化。



アメリカ腐蛆病にかかった幼虫



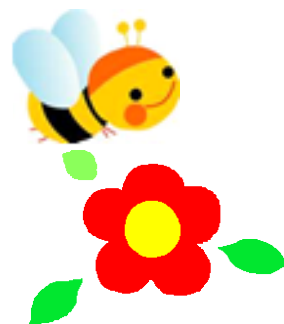
ミツバチヘギイダニ



背中に寄生したダニ

○消毒は発生予防の基本です！！ 適切な消毒の実施により病気の発生を予防しましょう。

消毒の対象	消毒方法	消毒薬
蜂場(土壌)	巣箱を設置する前の土壌消毒	消石灰
靴底	蜂場に入る前の靴底消毒	塩素系(アンテックビルコン等) 逆性石けん(パコマ等)
蜂具(ハイブツール等)	消毒液に浸漬(消毒後は十分に水洗)その他:熱湯消毒、火炎消毒	アルデヒド系(グルタール)
巣箱	水洗後、火炎消毒	—
巣脾	定期的な交換	—



～みつばちの農薬被害対策について～

水稲のカメムシ防除時期に蜜蜂の死亡事例が多く報告されており、殺虫剤への直接暴露による可能性が高いと考えられます。

対策として、

- ①水田に囲まれた場所、水稲以外の花粉源が少ない場所では巣箱の設置を避ける
- ②水稲の開花期に巣箱を避難させる
- ③周辺農家や、市町村、農協等と連絡を密にし、農薬の散布情報を収集する等が有効です。農薬による被害が疑われる事例があれば、連絡願います。

京都府南丹家畜保健衛生所 所在地：京都府南丹市八木町木原北東庄18

TEL：0771（42）3308（休日、夜間転送）／FAX：0771（42）5117